

[様式9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	上賀茂こども園	施設種別	保育所型認定こども園 (旧体系:)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和元年 11月26日

総評	<p>上賀茂こども園は、昭和31年に近隣の農繁期の子どもを預かってほしいという地域住民の声に応える形で上賀茂地域における唯一の認可保育園として開園し、平成30年4月1日には保育所型認定こども園に移行しました。近隣は、上賀茂神社や賀茂川がある歴史的風土保存地域であり、歴史と緑豊かな自然に囲まれた穏やかな環境にあるこども園です。一方で地下鉄北山駅を中心に住宅開発も進んでおり、ここ数年で入園希望者が増加傾向にあり、本園から徒歩圏内に2カ所、上賀茂こども園としての保育施設を拡充すると共に、小規模保育事業（乳児対象）の開設や、主に職員の子どもを受け入れる企業主導型保育事業（定員18名）の整備も計画しており、地域の子育て支援施設として、その役割を果たせるよう取り組んでいます。</p> <p>保育方針に「生き生きと楽しく創造性を育成」を掲げ「情緒の安定 基本的生活習慣 創造性の育成」を目標とし、絵画・造形活動を中心に、本物に触れる保育を実践する中で、豊かなイメージと創造的な表現が生まれるよう心がけています。</p> <p>管理者を中心に、職員の働く環境の改善にも取り組んでおり、今後も、地域の動向や子育て家庭に対する支援の思いを、園長が職員に丁寧に説明を行い、園長、管理者とそれを支える職員が一丸となって、地域の子育て家庭に支持される保育実践に取り組まれるよう望みます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 特に絵画表現、造形活動には力を入れており、園外保育で拾った自然物を活用するなど、日常生活の中で自然と絵画や造形に取り組めるようになっています。 施設長は、労働時間や有給休暇等について改善に努めています。また、雇用の状況が優良であると認められる中小企業に対して厚生労働省が認定を行う「ユースエール認定（若者雇用促進法に基づく認定制度）」を取得し、採用活動や育成活動に取り組んでいます。 地域子育てステーションとして、園庭開放（月3回）、会館の日（月1回）と称して子育てイベントの開催、育児相談、子育て講演会等を実施しています。休園日には、保育室を地域の方に会議室として提供すると共に、平日も習い事教室（習字、英語、ダンス、バレエ等）に提供しており、卒園児も多く利用しています。また、地域の未就園児を持つ親子を対象にニーズアンケートを実施し、福祉ニーズの把握に努めています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> 中・長期事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されるとより良いでしょう。 公認会計士等による外部監査を実施し、経営内容のチェックや改善に繋げるとより良いでしょう。

*それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

〔様式9-2〕

【保育所版】

評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	上賀茂こども園
施設種別	保育所型認定こども園
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2019年11月26日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。		a	a
【自由記述欄】						
・保育理念、保育方針、保育の目標は明文化されており、園内に掲示、重要事項説明書、パンフレット、ホームページ等に明記しています。その内容は、全職員に配布し年度初めの職員会議で読み合わせを行っています。						

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。		a	a	
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。		a	a	
【自由記述欄】							
・近隣の保育ニーズについて、京都市公表のデータや園見学に来られる保護者の方の話などを中心に把握に努めています。また、それらの情報をもとに施設の拡充を図っており、園舎を1ヶ所、小規模（乳児のみ）を1ヶ所実施、職員の子どもを主に預かる企業主導型保育事業（定員18名）を新たに1ヶ所実施を計画するなど、5年先までの予算を立て、事業計画を策定しています。これらの取り組みは、「保育園経営の理解度に関する職員アンケート」を副主任以上に実施し、その結果を全職員に配布し、職員に取り組みを知ってもらえるよう努めています。							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		a	a	
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		a	a	
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		a	b	
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。		a	a	
【自由記述欄】							
・事業計画は、ホームページでの公表や保護者会総会で保護者等への周知に努めています。今後は、中・長期事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されるより良いでしょう。							

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。		a	a	
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。		a	a	
【自由記述欄】							
・園長の他に、副園長、教頭、主任、チーフ、副主任を管理者として配置し、月1回の全体職員会議前には「特別委員会会議」として管理者会議を開き、内容を精査してから開催しています。また、適宜開催される各部署会議等にも出席し、園の方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。							

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
II-1 管理者の責任と リーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	①	施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	①	保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・施設長の役割や責任について、園則に示されています。各会議等においても、園の方針に沿った保育が展開されるよう管理者と連携し、その充実に努めています。遵守すべき法令等については、職員面談時に確認し周知に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	②	総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

- ・施設長は、労働時間や有給休暇等について改善に努めています。また、雇用の状況が優良であると認められる中小企業に対して厚生労働省が認定を行う「ユースエール認定（若者雇用促進法に基づく認定制度）」を取得し、採用活動や育成活動に取り組んでいます。
- ・年2回、園長か教頭と職員の個別面談を実施し、意向や要望を次年度の体制に活かせるよう取り組んでいます。また、育児休業明けの職員などからの意向を重視した時間短縮勤務等を含む柔軟な勤務体制構築にも努めています。
- ・「課題カード」として、会議前に職員から要望や意見などを議案の提案として募り、重要度の高いものから取り上げ、改善に繋げています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
II-2 福祉人材の確保・ 育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関する専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	①	実習生等の保育に関する専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a

[自由記述欄]

- ・北区の保育園で絵画を中心とした合同研修を年4回、保育についての研修を年3回、職員の多くが参加できるよう夜に開催しています。その内容は、職員間だけでなく近隣保育園でも研修内容が保育に活かせるよう、その内容を共有しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
II-3 運営の透明性の確 保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b

[自由記述欄]

- ・園のホームページに、財務諸表、全体的な計画などと共に苦情解決システムに基づいて苦情内容や対応内容も個人情報の保護に留意したうえで公表しています。
- ・園の規則やマニュアル類は保護者にも自由に閲覧出来るようにしています。今後は、公認会計士等による外部監査を実施し、経営内容のチェックや改善に繋げるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a	
		24	②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a	
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	①	保育所が有する機能を地域に還元している。	a	a	
		27	②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a	
[自由記述欄]							
<p>・地域子育てステーションとして、園庭開放（月3回）、会館の日（月1回）と称して子育てイベントの開催、育児相談、子育て後援会等を実施しています。休園日には、保育室を地域の方に会議室として提供すると共に、平日も習い事教室（習字、英語、ダンス、バレエ等）に提供しており、卒園児も多く利用しています。また、地域の未収園児を持つ親子を対象にニーズアンケートを実施し、福祉ニーズの把握に努めています。</p> <p>・P T A活動があり、バザー開催や小学校の夏祭りに園として出展するなどの取り組みがあります。</p>							

III 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
III-1 利用者本位の福祉 サービス	III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

・個人情報や人権保護に対するマニュアルが整備されており、職員からは内容について同意書をもらっています。入園希望者に対する見学は随時受け付けており、対応しています。保育所等の変更にあたっては転園先に保育要録の総括版を作成し送付すると共に、それらの手順を文書化しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
III-1 利用者本位の福祉 サービス	III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

・苦情解決の仕組みは整備し、周知されていると共に、対応内容を記録したものを職員間で共有しています。内容については保護者の同意を得てうえでホームページで公表しています。保護者アンケートは毎年実施し、項目ごとに評価を記入する欄と自由記述の欄を設け、その集計結果について園の取り組みや考えを、保護者にフィードバックしています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	a	a
III-1 利用者本位の福祉 サービス	III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a

[自由記述欄]

・ヒヤリハットを作成し、パート職員を含め全職員が記入できるようにしており、対策や要因分析を会議で話し合い事故防止に努めています。災害時の対応マニュアル、感染症予防マニュアル、不審者侵入時対応マニュアルが整備されています。保護者への一斉メール配信や備蓄倉庫も整備しており、自然災害等の発生時に対応出来るよう備えています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果		
			自己評価	第三者評価			
III-2 福祉サービスの質 の確保	III-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されて いる。	a	a	
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立してい る。	a	a	
	III-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a	
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a	
	III-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間 で共有化されている。	a	a	
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a	
【自由記述欄】							
<ul style="list-style-type: none"> ・保育を一定の水準で常に実践できるようにする為、保育の標準的な実施方法を文書化しています。 ・月間指導計画や乳児の個別計画に対する評価・反省や個別の保育記録を作成すると共に、「子ども発達チェックリスト」を作成し、年2回発達経過を 共通化した項目で確認し、内容を職員間で共有するよう工夫しています。 ・職員の携帯電話（園から正規職員に支給）の番号を園内に掲示し、職員間ですぐに連絡・連携が取れるよう配慮しています。 							

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a	
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	a	a	
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a	
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a	
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a	

[自由記述欄]

・全体的な計画を編成しています。毎年、年始より次年度に向けて評価・反省を行い、それをもとに次の計画を編成し直すようにしています。保育の目標・ねらいを園内に掲示し、保護者への周知に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a	
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a	

[自由記述欄]

・0歳児は特定の保育者との継続的な関りが保てるよう担当制を行っています。1~2歳児においても、緩やかな担当制を行い、子どもと保育者が安定した信頼関係を築き、園生活が落ちついたものとなるよう配慮しています。3歳以上児の保育は、運動、音楽、造形、言語（劇遊びやインタビュー等）、自然との触れ合い（飼育、栽培等）など様々な体験が出来るようになっています。特に絵画表現、造形活動には力を入れており、園外保育で拾った自然物を活用するなど、日常生活の中で自然と絵画や造形に取り組めるようにしています。八瀬野外センターには、5歳児は年2回訪れ、内1回は宿泊します。また、音楽、体育、英語については園の保育方針に沿う形で専門の講師による指導を行っています。

・年長児は、専用の園舎で過ごしています。

・障害児保育に携わる保育者は、京都市が定める発達支援コーディネーター養成研修を修了したものをお配置しており、適切な知識を持って対応するよう努め、関係機関や専門機関と連携し保育を行っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価	自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a	
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a	
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a	
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a	
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a	

[自由記述欄]

・内科健診、歯科健診を年2回、耳鼻科健診、眼科健診を年1回実施し、その結果を保護者に伝えると共に、内容によっては職員に周知し、保育に反映するようにしています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目		評価結果	
			自己評価	第三者評価		
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	①	子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者の支援	63	①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a

【自由記述欄】

・保護者が日常の保育を体験出来るよう取り組み、実際に園の保育実践の場に保護者が参加する事で、園の保育方針を実感してもらえるよう取り組んでいます。乳児は連絡帳で保護者と日々の情報交換を実施しており、使用後は保護者に想い出として渡しています。

・職員の個別自己評価を年2回実施し、園長や教頭との個別面談で内容を確認し、振り返りと質の向上に繋がるようにしています。また、行事ごとに職員アンケートを実施し、次の行事に反映するようにしています。